

肺高血圧症って

病気について
きちんと知ることから。

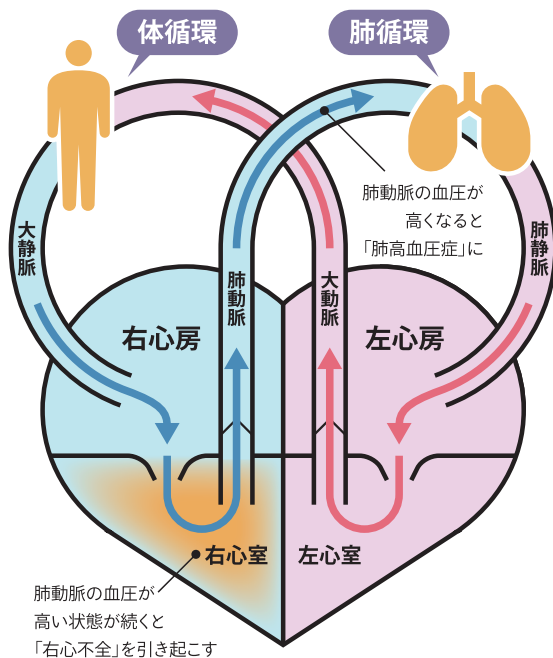


「肺高血圧症」は、心臓から肺へ血液を送る血管（肺動脈）の内腔が狭くなることで、肺動脈の血圧（肺動脈圧）が高くなる病気です。

肺動脈の血圧が高くなると、心臓から肺へ血液が流れにくくなり、肺の血管（肺動脈）へ無理に血液を送ろうとするため、心臓（右心室）への負担が大きくなります。

この状態が続くことで、心臓（右心室）の筋肉が負担に耐えきれなくなると、その働きが悪くなり「右心不全」を引き起こします。そして、全身に必要なだけの血液（酸素）を送れなくなり、全身の機能が低下していきます。

また、病気の進行とともに重症度が高まるため、できるだけ早期に治療を始めることが大切です。



肺高血圧症臨床分類

肺高血圧症は、典型的な疾患群の肺動脈性肺高血圧症 (PAH) をはじめ、5つの群に分類されています。

【第1群】肺動脈性肺高血圧症 (PAH)

- ▶ 特発性PAH
- ▶ 遺伝性PAH
- ▶ 薬物・毒物誘発性PAH
- ▶ 各種疾患に伴うPAH

【第1群】肺静脈閉塞性疾患 (PVOD) / 肺毛細血管腫症 (PCH)
新生児遷延性肺高血圧症 (PPHN)

【第2群】左心性心疾患に伴う肺高血圧症

【第3群】肺疾患 / 低酸素血症に伴う肺高血圧症

【第4群】慢性血栓性肺高血圧症 (CTEPH)

【第5群】詳細不明な多因子のメカニズムに伴う肺高血圧症

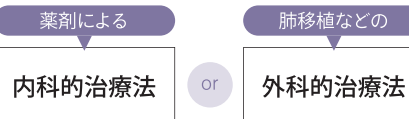
- ▶ 血液疾患
- ▶ 全身性疾患
- ▶ 代謝性疾患
- ▶ その他

■：国により「特定疾患治療研究対象疾患」に指定
※肺高血圧症治療ガイドライン（2017年改訂版）より作成

肺高血圧症の主な症状

- 息切れ
- 胸痛
- 失神
- 慢性疲労
- 下肢の浮腫
- 抑うつ
- 乾性の咳
- レイノー現象 など

肺高血圧症の治療法



これまで肺高血圧症に対して「内科的治療」で病気を完全に治すことは難しいとされてきましたが、近年は治療薬の開発や進歩により、著しく改善されてきています。

医療費の公費負担

肺動脈性肺高血圧症 (PAH) と慢性血栓性肺高血圧症 (CTEPH) は現在、国により「特定疾患治療研究対象疾患」に指定され、医療費は公費負担となります。PAH/CTEPHと確定診断されたら、住所地を管轄する保健所で、特定疾患医療給付の申請をしてください。



ど
う
い
う
病
気
?



特定非営利活動法人

PAHの会

Pulmonary Hypertension Association of Japan

肺高血圧症患者と家族の会

入会のご案内



肺高血圧症と共に

私たちは、肺高血圧症患者と家族で運営している
全国組織の患者会です。

